

ロバート・イーズ (2000)

SOUTHERN COMFORT

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 アメリカ

時間 90分

初公開日 2002/09/28

公開情報 パンドラ=ボックスオフィス

【キャッチコピー】

わたしはなにも後悔しない
自分のまんなかを歩いてきたんだから

【解説】

学生時代から映画製作に取り組んできたケイト・デイヴィス監督のドキュメンタリー作品。2001年サンダンス映画祭審査員大賞受賞作。本作は、監督がドキュメンタリー番組製作のためメリーランド州のトランスセクシャル（性同一性障害者で性転換を望む、あるいはした人）の大会を訪れ、そこで出会った余命わずかの老人ロバート・イーズを1年間追ったもの。

ロバート・イーズ。アメリカ・ジョージア州に住むこの人物は、かつて女性として生まれ、2人の息子を育てた後、男性として生きることを選んだ。彼の最愛のパートナー、ローラは男性として生まれ、現在では女性としての人生を送っている。ロバートは、女性だった頃の遺物である子宮が末期ガンに侵されていた。余命は残りわずか。それでも近くアトランタで開催されるトランスジェンダー（身体の性と心の性に違和を感じている人）の大会に参加しようと楽しみにしている。ロバートの病状は日々悪化し始め、ローラは献身に身の回りの世話をする。大会はもう間近に迫っていた。

【クレジット】

監督	ケイト・デイヴィス	Kate Davis
製作	ケイト・デイヴィス	Kate Davis
共同製作	エリザベス・アダムズ	
撮影	ケイト・デイヴィス	Kate Davis
編集	ケイト・デイヴィス	Kate Davis
音楽	ジョエル・ハリソン	
出演	ロバート・イーズ	Robert Eads
	ローラ・コーラ	Lola Cola